



## 夏休み水族館「有明海のいきもの展」来場者1800名!

福岡都市圏で使用する水の約3分の1を筑後川を水源としているものの、有明海に馴染みの薄い福岡都市圏の方に有明海について知ってもらおうと、8月18日(月)～22日(金)までの5日間福岡市役所1階市民ロビー(福岡市天神)にて夏休み水族館「有明海のいきもの展」を開催しました。

有明海に棲むムツゴロウ、ワラスポ、タイラギ、シオマネキ、ガザミ、ハゼ類など約20種類の魚貝類の水槽展示や有明海の変遷や漁具・漁法を紹介したパネル、有明海の風景写真等の展示を行いました。

期間中、約1,800名もの来場があり、普段見ることのない有明海のいきものを深く熱心にご覧になっていました。特にシオマネキレースは子供たちに大人気でした。



上：いきもの展の様子 下：シオマネキレース

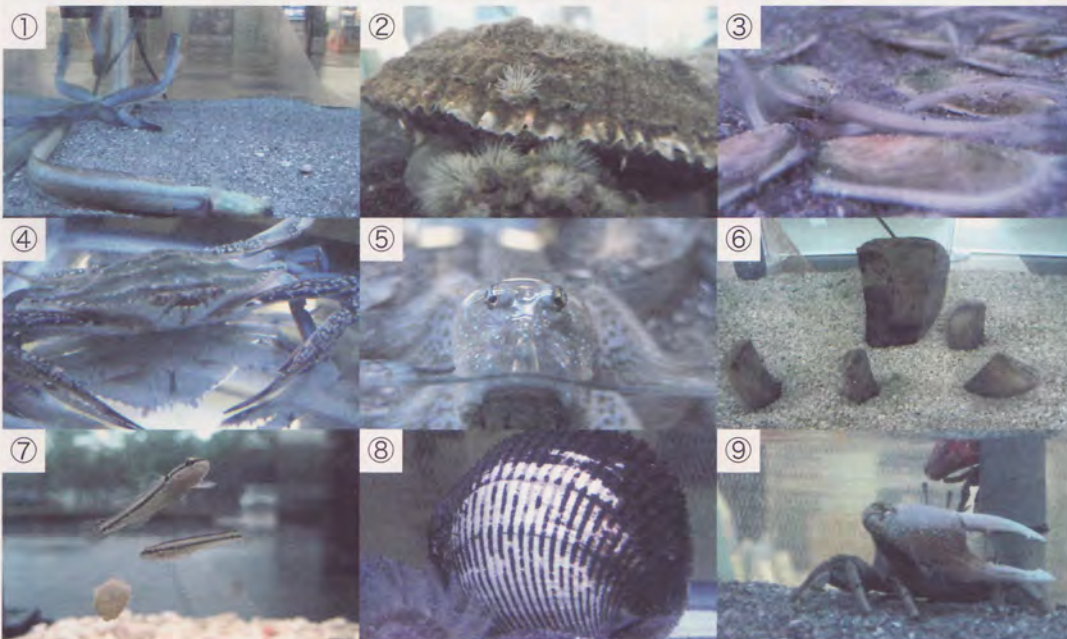


### 来場者アンケート

「もっと多くの方に観ていただきたい、環境の大切さを再認識した。このような展示会をもっと開催して誰もが共有できる有明海にしてください。」

「有明海に棲む生き物がこんなに美しくユニークであることを知って面白かった。」などの意見をいただきました。

## 「有明海のいきものたち」



- ①ワラスポ
- ②イタボガキ
- ③ミドリシヤミセンガイ
- ④ガザミ
- ⑤ムツゴロウ
- ⑥タイラギ
- ⑦シモフリシマハゼ
- ⑧クマサルボウ
- ⑨シオマネキ

(※この展示会は独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金より助成を受けて開催しました。)



## 有明海講演会「カキ礁復元による有明海再生」を開催しました。

8月16日（土）にアクロス福岡円形ホール(福岡市天神)にて有明海講演会「カキ礁復元による有明海再生」を開催し、当日は約50名の参加がありました。

初めに佐賀県有明水産振興センターの野口敏春所長より「有明海のカキ養殖の歴史とカキ礁の重要性」について講演いただき、有明海から生まれたお菓子があることや、有明海のカキ養殖の歴史について知ることができました。

次に、北海道大学名誉教授向井宏先生より「海におけるカキ礁の役割」と題して講演いただき、東京湾の三番瀬干潟のカキ礁の例など、全国のカキ礁についての講演がありました。

その後、当機構空閑研究員より、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金より助成を受けて6月に行った「カキ礁調査」についての報告を行いました。



（※この講演会は独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金より助成を受けて開催しました。）

## 有明海についてのパネルを作成しましたので、ご活用ください。

有明海についてのパネルを作成しました。

パネルリストは下記のとおりです。会員にはパネルの貸し出しを行う予定です。勉強会、イベント等にご活用下さい。

1. 有明海（佐賀県海域）地理情報図
2. 有明海（佐賀県海域）地理情報図（カキ礁）航空写真
3. 有明海のカキ礁の役割とカキ礁やその近くにすむ生き物たち
4. 有明海でのカキ礁（佐賀県東部漁場）の実態調査方法
5. 干潟の役割
6. 有明海をめぐる陸の移り変わりその1
7. 有明海をめぐる陸の移り変わりその2
8. 有明海をめぐる陸の移り変わりその3
9. 有明海漁業実況図①
10. 有明海漁業実況図②
11. 有明海漁業実況図③
12. 有明海の風景 ムツゴロウ
13. 有明海の風景 クロツラヘラサギ
14. 有明海の風景 四つ手網
15. 有明海の風景 赤
16. 有明海の風景 青

（※上記のパネルは独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金より助成を受け作成しました。）



### 支援会員募集のご案内 ※詳しくは事務局までお問い合わせください。

有明海再生機構では、当機構の趣旨に御賛同いただき、活動を支援して下さる支援会員（企業・団体・個人）を募集しております。

年会費：企業・団体…一口 5万円 個人…一口 1万円



## カキ礁についてのパンフレットと下敷きを作成しました。

有明海のカキ礁について多くの方に知っていただくためにカキ礁についてのパンフレットと下敷きを作成しました。先呂開催した「有明海講演会」や「有明海のいきもの展」で多くの方に配布することができました。パンフレットでは前半に有明海について、後半にカキや貝類について掲載しています。下敷きの表はカキ礁の役割。裏は6月に行ったカキ礁調査の時に採取し、観察した主な生物を掲載しています。



—パンフレット目次—

- 有明海の成り立ち
- 有明海をめぐる陸の移り変わり
- 有明海の干潟の役割
- 有明海特有の生物
- カキ養殖のあゆみ
- カキ礁の役割
- 貝の海水浄化について
- 有明海の貝類漁獲の現状



(※上記のパンフレット・下敷きは独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金より助成を受けて作成しました。)

## 昨年度に引き続き、マスタープラン業務を請け負いました。

当機構では、昨年度に引き続き、(独)水産総合研究センター、いであ株式会社と共同で環境省から有明海・八代海総合調査再生推進業務(調査研究のマスタープラン作成)を請け負いました。

今年度は、業務成果のロードマップについて課題の絞り込みを行うとともに、有明海・八代海の目指すべき目標を検討し、各ロードマップ間の関係の整理と総合化等を行いたいと思います。

## 事務所移転のお知らせ

この度、下記のとおり移転し、新事務所において業務を開始する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

何卒今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、新事務所は佐賀県庁すぐ南側です。近くにお出かけの際は、ぜひ一度お立ち寄りください。

記

1. 新事務所所在地  
佐賀県佐賀市城内1-5-14 佐賀県自治会館4階  
(※電話・FAXは変更ありません。)
2. 移転日 平成20年8月1日





## 支援会員の活動紹介 (有明海の再生を願う当機構の活動を支援してくださっている会員の皆様)

### 第3号 佐賀県有明海漁業協同組合 様

#### 佐賀海苔PRイベント— ちょっと! 贅沢なおにぎりを食べてみませんか? —



佐賀県有明海漁協青年部・女性部共催の佐賀海苔PRイベントを平成20年8月20日に県庁1階県民ホールで開催しました。

今回のイベントの目的は、現在、コンビニおにぎりに使用されている海苔よりも上質な海苔を使った高級おにぎりの市場性を探るとともに、一般の消費者が日頃食べることのできない上質な海苔の美味しさを実感してもらい消費拡大につなげるために行いました。

会場ではその他、海苔入り味噌汁・すまし汁、海苔チップス、海苔ドレッシング、絵巻き寿司や海苔の焼き方の実演などがあり、来場者は男女問わず、夏休み中もあって子供連れの方も多く、用意していた高級おにぎり500個は1時間足らずで無くなりました。

今回は初めての試みで人が集まってくれるかどうか不安でしたが多数の人が集り、テレビやラジオ、新聞等のメディアに取り上げられ、佐賀海苔をPRする良い機会になったと思います。

### 第4号 株式会社 東京建設コンサルタント 九州支店 様

#### 河川的环境保全に関する調査・検討業務を通じて、有明海的环境保全に貢献していきます



筑後川下流における希少魚類調査の様子

21世紀を迎え、ますます地球温暖化、人口問題、資源の枯渇が深刻化しており、人類が安全・安心で豊かな生活をするには、これらの問題を避けて通ることはできません。東京建設コンサルタントでは、このようなグローバルな視点で公共事業に取り組んでいます。

当社九州支店では、国の委託を受け、有明海最大の流入河川である筑後川において、エツ、アリアケシラウオなど有明海との関わりの深い希少魚類の生息・生育・繁殖環境を保全するための調査・検討や、有明海的环境保全に資する河川の水環境管理に関する検討などを行なっています。

私たちは、これからも先人たちが築き上げてきた歴史や風土を真摯に学び、そして知恵や技術を実践に受け継ぎ、常に時代の先端に立ち、培った高度な技術サービスを通じて、安全安心で、豊かで潤いのある社会資本整備に貢献していきたいと考えています。

<お問い合わせ>

(株)東京建設コンサルタント九州支店 福岡市博多区中洲5-6-20 TEL:092-262-7311 ホームページ: <http://www.tokencon.co.jp/>

## 正会員のご紹介 有明海再生に関する研究を学術的に行う大学等の研究者で構成される正会員に、新たに入会していただきました。

### ■吉野健児 准教授(佐賀大学有明海総合研究プロジェクト)

このたび正会員となりました吉野です。私はこれまでは主として北海道で岩礁潮間帯のヤドカリの行動生態学的研究を行っていましたが、2005年9月から佐賀大学に所属することになり、有明海との付き合いがはじまりました。有明海ではマクロベントス全般を対象とした群集生態学的な調査を行っています。マクロベントスとは底泥を1mm目合いのふるいでふるったときにその上に残る小動物のことで、ゴカイ類や貝類、ヨコエビなどの甲殻類等、様々な分類群の生物が含まれます。こうした生物は産業的価値が小さいため、その重要性は見過ごされがちですが、生態系の中で水産有用種や渡り鳥などの餌資源として重要な役割を持つだけでなく、水質浄化機能などの生態系サービスを有しています。また沿岸海域環境の健全性を評価する指標として利用されることもあります。これまでになじみの薄かったゴカイや貝類などの調査、分類には四苦八苦しながらも、情報の不足している有明海湾奥部の干潟や浅海域でのこれらの生物の分布状況、夏季に湾奥部で発生する貧酸素水塊の影響などを調べてきました。まだまだ新米教員で微力ではありますが、どうぞよろしくお願いたします。

## 編集後記

8月に福岡市で(独)環境再生保全機構地球環境基金より助成を受けて、有明海力キ礁についての啓発活動を行いました。参加された多くの方々から有明海について考えるきっかけとなった等の声をいただき心強く思っています。

10月に有明海で行う力キ礁の現地調査でさらに理解が深まればと思います。

## 発行

### NPO法人 有明海再生機構事務局

〒840-0041 佐賀県佐賀市内1-5-14 佐賀県自治会館4階

TEL (FAX兼用) : 0952-26-7050

E-mail : [npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp](mailto:npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp)

ホームページ : <http://www.npo-ariake.jp/>

※H20.8、事務所移転で住所が変わりました。電話(FAX)はそのままです。